

第Ⅳ章 合意形成や情報発信に向けた取組

第Ⅳ章 合意形成や情報発信に向けた取組

1. これまでの取組と今後の展開

過年度の取組を踏まえた今後の展開を以下に整理した。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
検討 ステージ	行程計画（案） 作成	計画内容の具体化に向けた取組			
ターゲット・ 目的等	県民・市民へ中 間取りまとめの 内容を周知	計画づくり スタート） （戦略検討）	計画づくりに ついて 地権者・市民の 意見聴取、気運 醸成	計画づくりに ついて 地権者・市民の 意見聴取、気運 醸成	計画づくりに ついて 地権者・市民の 意見聴取、気運 醸成
合意形成 意見聴取	地権者の合意形成・意見聴取（地主会、若手の会、懇話会等）＊宜野湾市実施				
	市民の合意形成・意見聴取（NBミーティング、座談会、まち歩き等）＊宜野湾市実施				
			ワークショップ		絵画コンクール
情報発信	ホームページ（HP）の公開（適宜更新）				
	プロモーションビデオ（PV）放映				
	PRキャラバン				
	県民フォーラム				
プロモーション ツールの制作	HP立上げ		HPリニューアル	HPコンテンツの作成	
			英語パンフ作成	原風景模型 パンフ作成	
			パネル作成		
	地形模型		地層模型	原風景模型	
	PV制作	将来イメージを討議するためのVRを活用したPV制作			
	・「全体計画の中 間取りまとめ」 PV-普天間未来 予想図	・中央エリア ⇒世界に誇れる 環境づくり ＊地権者、市民等 向け	・北側エリア ⇒歴史文化とコ ミュニティ ＊地権者、市民等 向け	・南側エリア ⇒シマの基層と公 園都市 ＊地権者、市民等 向け	・緑の中のまちづくり ⇒緑の価値と街へ の期待 ＊地権者、市民等 向け

図Ⅳ－1 これまでの取組と今後の展開（1／2）

平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度～
計画内容の具体化に向けた取組					
	配置方針の更新	中間取りまとめ(第2回) (事務局案)	(第2回)策定		
子どもたちや地権者・県民・市民に体験を通じて計画づくりの周知、意見聴取、気運醸成	県外へ向けて、体験を通じて、計画づくりを広く周知、意見聴取、気運醸成	計画づくりについて広く地権者・県民・市民に周知、意見聴取、気運醸成 ※令和2年度は、コロナウイルスの影響により、イベントは未実施	中間取りまとめ(第2回)の周知、意見聴取、気運醸成 若い世代等、将来の普天間飛行場跡地や沖縄の将来を担う人材の育成		
(地主会、若手の会、懇話会等) *宜野湾市実施					
(NBミーティング、座談会、まち歩き等) *宜野湾市実施					
					若い世代の意識醸成
ホームページ (HP) の公開 (適宜更新)					
プロモーションビデオ (PV) 放映		※下記未実施	プロモーションビデオ (PV) 放映		
体験イベント ・図書館イベント ・大型展示会への出展	体験イベント ・霞が関イベントへの出展	パネル展示 大型モニターを活用した PV 上映 Web フォーラム 情報発信コンテンツ作成	体験イベント	PRキャラバン 県民フォーラム 50年イベント	万博イベント 若い世代を対象としたコンパ・フォーラム
HP コンテンツの作成					
シアター映像	シアター映像				
VRによるまちまーい	VRによるまちまーい				
パネル作成	普天間飛行場と山手線の大きさ比較				
航空写真マット作成	航空写真マット作成				
パンフ作成			パンフ作成		
VRを活用したPV制作			VRを活用したPV制作		
・普天間飛行場の現状と歴史 ・跡地利用による効果 ・緑の中のまちづくり ・暮らし方イメージ *県民、市民等向け (特に小中学生)	・みどりの中のまちづくりの揺るぎない方向性 ⇒シマの基層を最大限活用 ⇒公民の境なくまち全体に緑を創造 ⇒最先端技術を導入 *県民、市民等向け		・中間取りまとめ (第2回) の内容をまとめた PV 作成 *県民、市民等向け		

図Ⅳ－1 これまでの取組と今後の展開 (2 / 2)

2. 跡地利用計画に関するイベント（展示会）の企画・開催

本節では、これまでの過年度成果、合意形成・情報発信ツール等を活用した跡地利用計画に関するイベントの開催について検討した。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染防止対策による沖縄県緊急事態宣言の発出によりイベント開催を中止とし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮した新たな3密（密閉・密接・密集）状態をつくることのない、イベント（展示会）の企画案について検討を行った。

（1）イベント開催条件

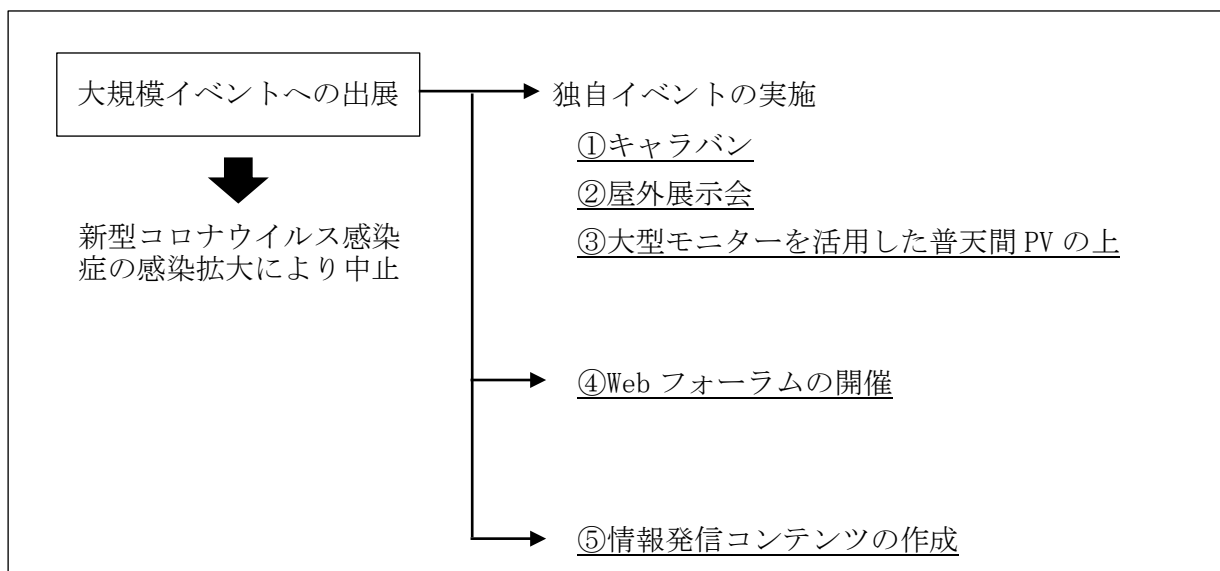
イベントについては、以下の条件を満たすこととする。

表Ⅳ－１ イベントの条件

	条 件
条件①	・ 広く県民・市民の参加が想定できること
条件②	・ 過年度の成果を活用し、跡地利用計画の認知度向上に資すること
条件③	・ 県民・市民の意見を聴取できること

（2）イベント企画案

情報発信の手法としては、多数の来訪者が訪れる県内の大規模イベントへの出展が最も効果的であったことから、「沖縄県トータルリビングショウ」への出展を検討していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、中止となった。それに伴い、代替案として、（1）の条件を踏まえ、下記の①～⑤におけるイベント開催に向けた検討を行った。



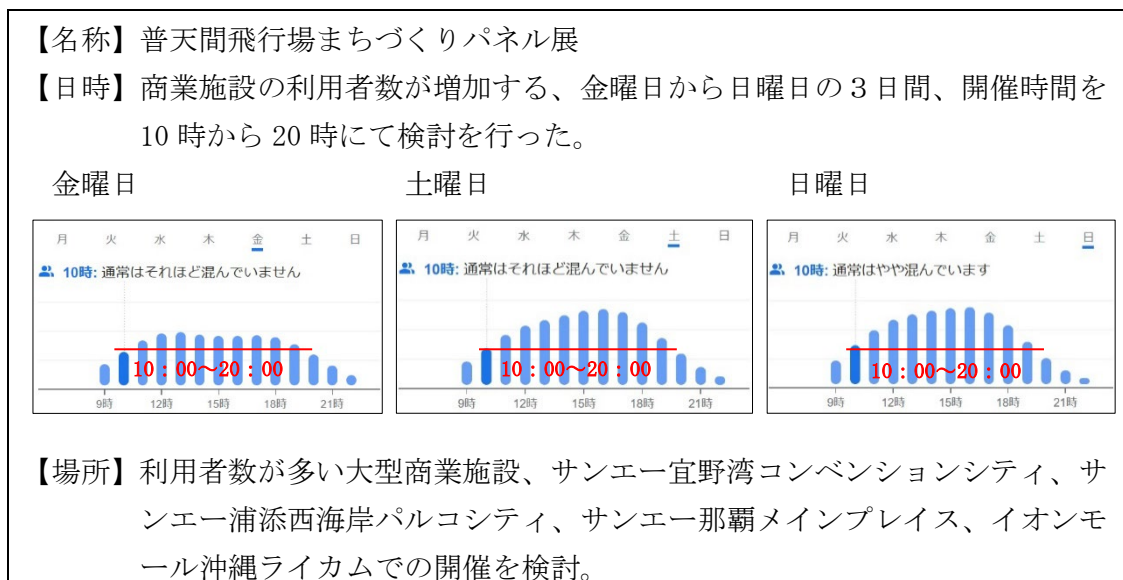
（２）－１ ①キャラバン

（２）－１－１ 目的

不特定多数の県民・市民が利用する商業施設において、キャラバンを開催することで、普天間飛行場跡地利用に向けての取組を、県民に広く周知し、返還後のまちづくりに関する気運醸成を図ることを目的とする。過年度までの成果品を用いた展示会を開催するとともに、内閣府沖縄総合事務局が主催した「まちづくりパネル展」のパネルを活用し展示することで、パネル展の内容の充実化を図り、これまで跡地利用に関する情報に触れる機会の少なかった県民・市民の認知度向上と、今後の展望に夢を抱いてもらう機会を創出する。

（２）－１－２ 概要

日時及び場所は、以下のとおり検討した。



（２）－１－３ 展示内容

普天間飛行場跡地利用計画に関するパネルを展示するとともに、跡地利用について身近に感じてもらえるよう、内閣府沖縄総合事務局主催「まちづくりパネル展」のパネルを活用し、これまでの跡地利用に伴う事例を紹介することで、今後返還が予定されている、跡地利用に向けて意識醸成に繋がる展示内容とした。普天間飛行場跡地利用計画におけるパネルは「未来の跡地利用」を、内閣府沖縄総合事務局が主催したまちづくりパネル展のパネルは跡地の「今昔」を示しており、来場された県民・市民に対して、より一層、未来の跡地利用に向けた重要性の認識に繋げることができると期待できる。

普天間飛行場跡地利用計画の概要

今後返還が予定されている普天間飛行場について、過年度作成したパネル「普天間飛行場跡地利用計画（中間取まとめ）」を活用し、具体的な計画内容を理解してもらう。



普天間飛行場跡地に潜在する資源の魅力（シマの基層）

普天間飛行場及び周辺における自然環境自然・歴史文化資源を展示し、普天間飛行場跡地に潜在する資源の魅力を知ってもら



追加検討

「原風景模型の展示」



跡地利用による経済効果と緑の中のまちづくり

普天間飛行場がまちになることでもたらす経済効果や、緑が人や環境にもたらす効果を示すことで、跡地利用の重要性と未来の普天間飛行場跡地に夢を抱いてもらう。



普天間シアター映像の上映

過年度作成した普天間飛行場の未来のまちのイメージを上映することで、跡地利用への興味関心に繋げる。



米軍施設返還跡地利用の概要

これまでに返還された跡地の利用状況を紹介するとともに、今後返還が予定されている、県内の返還跡地・返還合意施設を知ってもらう。

返還跡地に誕生したまちの紹介

跡地の概要、沿革、今昔の写真を用いて跡地利用の事例を紹介し、これまでの移り変わりを伝える。

基地跡地の未来に関する懇親会について

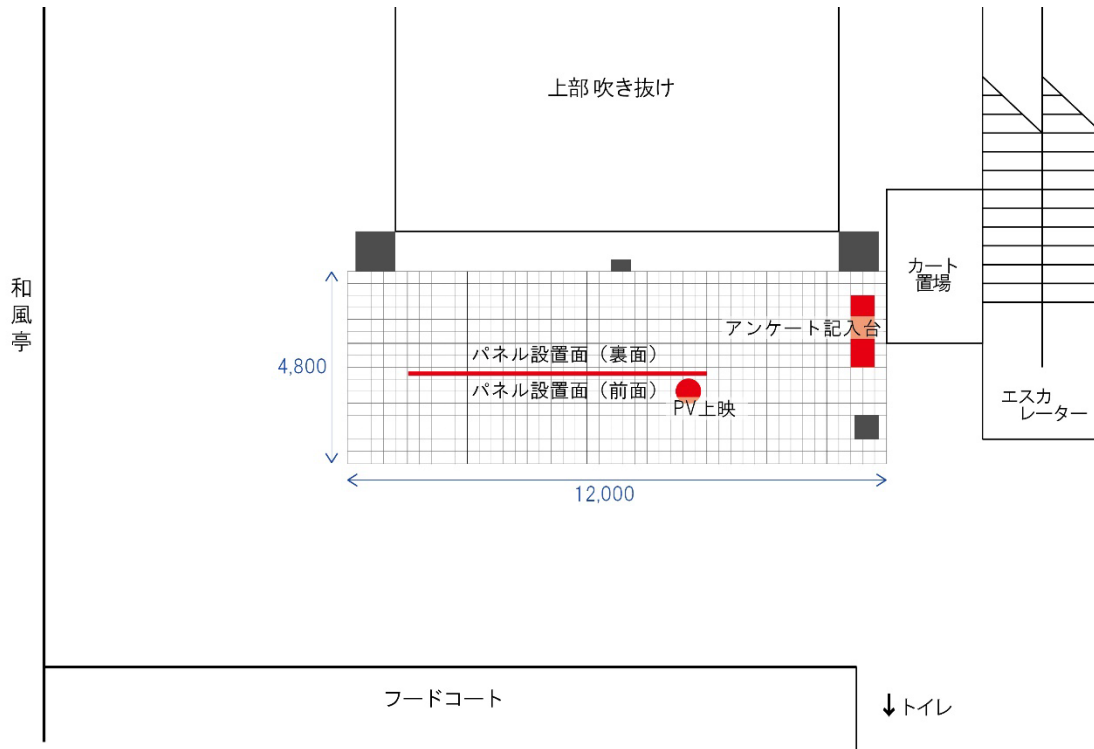
今後返還が予定されている普天間飛行場、牧港補給地区等の在日米軍施設・区域の跡地利用、その核となる施設・機能の検討内容について知ってもらう。

アンケートによる意見聴取

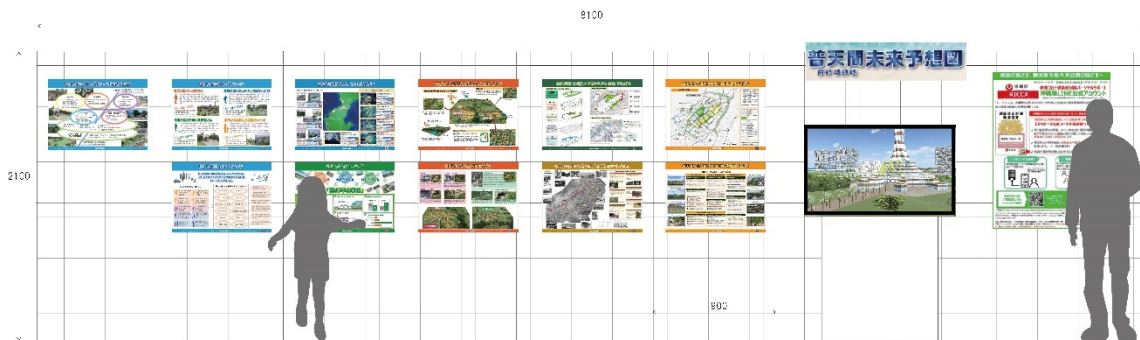
(2) - 1 - 4 ブースレイアウト

開催場所の検討を行った結果、今後返還が予定されている普天間飛行場跡地が立地している宜野湾市、サンエー宜野湾コンベンションシティにて、普天間飛行場まちづくりパネル展の開催に向けた検討を行った。

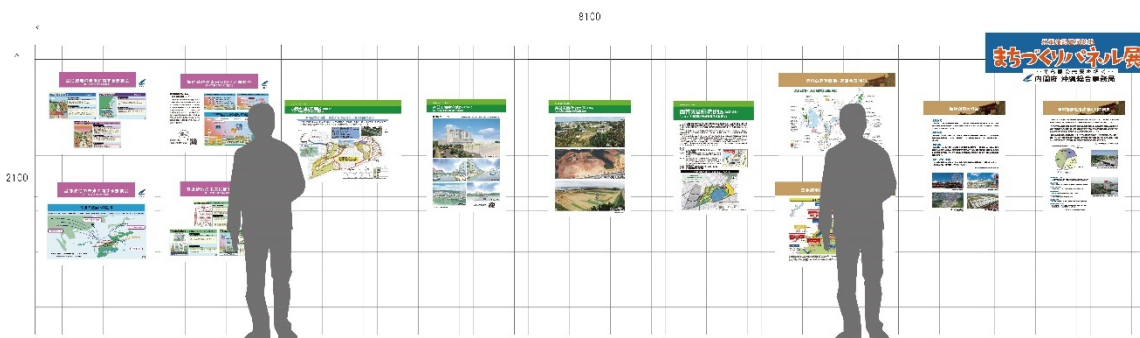
① 2階 催事場



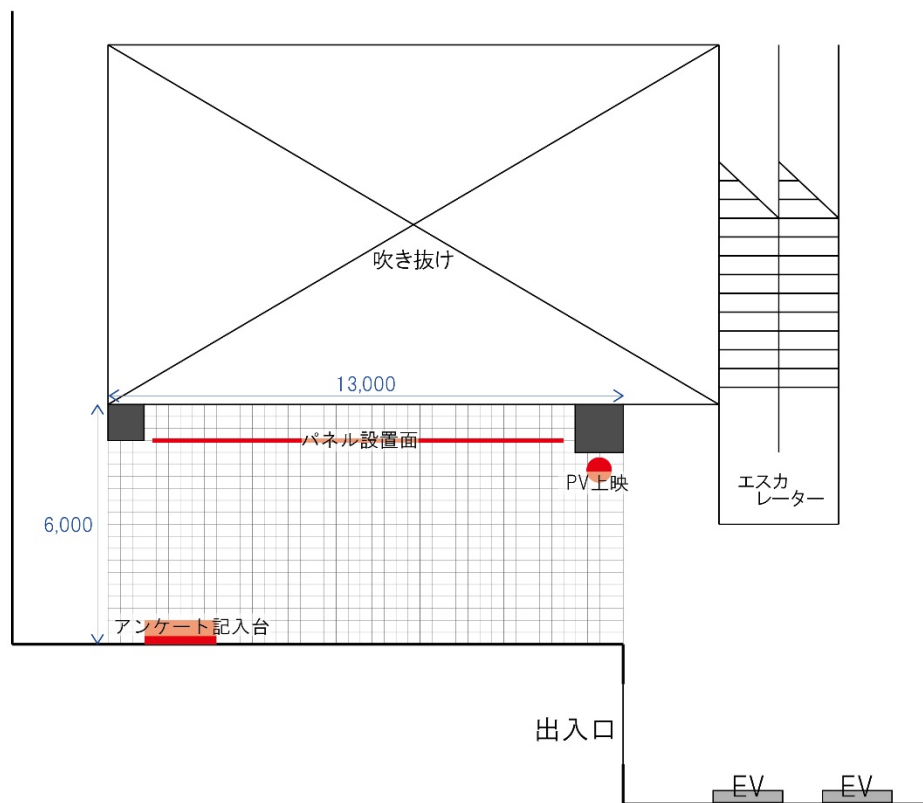
パネル設置面（前面）



パネル設置面（裏面）



② 3階 エントランス



パネル設置面



(2) - 2 ②屋外展示会

(2) - 2 - 1 イベントの企画 検討目的

県内の大規模な公園・緑地での普天間飛行場跡地利用計画の内容等を取りまとめたパネルを展示し、県民に情報発信を行うことで、大規模公園に求める機能等について公園・緑地を実際に利用している人々から意見を聴取する。また、セグウェイなどの最先端のモビリティを体験できるコーナー設置により来場者の増加を図る。

(2) - 2 - 2 概要

開催時期および場所は、以下のとおり検討した。

【時期】台風が襲来する時期を避けるとともに、秋から冬にかけて屋外でも過ごしやすい時期を選定することで、屋外においても、説明員を配置し県民・市民からの意見を聴取する。

【場所】返還跡地に整備された新都心公園や、今後返還が予定されている普天間飛行場跡地が立地する宜野湾市のぎのわん海浜公園での開催を検討した。

(2) - 3 ③大型モニターを活用した普天間 PV の上映

(2) - 3 - 1 イベントの企画 検討目的

複数人で同時視聴ができる、大型モニターを活用した普天間 PV の上映（「前年度成果 PV」もしくは「30 秒程度の CM 形式へ再構成」）による情報発信を行うことで、多くの県民に向けて普天間飛行場跡地利用計画の認知を図る。

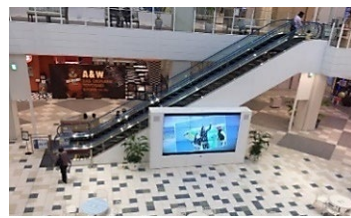
(2) - 3 - 2 概要

開催場所は、以下のとおり検討した。

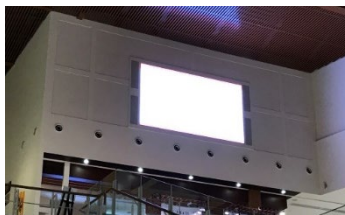
【場所】県民・市民が利用する施設且つ、大型モニターの整備されているサンエー浦添西海岸パルコシティ、イーアス沖縄豊崎、イオンモール沖縄ライカム、那覇バスターミナルでの上映を検討した。



図Ⅳ－２ サンエー浦添西海岸パルコシティ



図Ⅳ－３ イーアス沖縄豊崎



図Ⅳ－４ イオンモール沖縄ライカム



図Ⅳ－５ 那覇バスターミナル

(2) - 3 - 3 上映内容 (案)

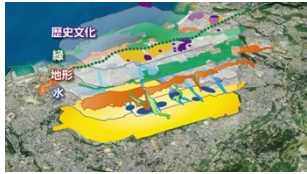
上映内容は、下記の2パターンで検討した。

① PV フル上映 (約7分)

普天間飛行場跡地利用計画の具体内容を県民に伝えることを目的とする。また、モニター付近に跡地利用計画の概要やPVの主旨をまとめたパネルを配置することで、跡地利用計画に対する理解に繋げる。

② PV 30秒構成

普天間PVの内容を概略化し、長時間立ち止まることなく視聴できる構成とすることで、多くの県民に向けて普天間飛行場跡地利用について県・市が共同で取組んでいることをPRすると同時に、認知度向上を図る。

 普天間飛行場の概要	 経済効果	 検討内容(概略)
--	--	---

(2) - 4 ④Web フォーラムの開催

(2) - 4 - 1 イベントの企画 検討目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮し、3密を避ける観点から、従来通りの人を集めるイベント（展示会）は行わず、Web フォーラムの開催を検討。多くの方々が興味・関心をもち視聴したくなるようなWeb フォーラムとする為、近年の話題を盛り込んだ講演テーマを設定するとともに、パネルディスカッションにおいては、柔軟な発想で活発な議論が展開できるパネリストに登壇して頂き、未来の跡地利用に向けて県民・市民の意識醸成に繋がるようなWeb フォーラムとする。

(2) - 4 - 2 概要

配信方法等については、以下のとおり検討した。

【配信方法】 Youtube Live 配信

【ターゲット】 次世代の普天間飛行場跡地利用及び沖縄県の今後の発展を担う 10 代～20 代の若い世代

(2) - 4 - 3 プログラム（案）

未来の跡地利用に向けて県民・市民の意識醸成に繋がるような、プログラム構成を検討した。

① 基調講演のテーマ設定

近年の話題 AI や IoT がもたらすイノベーションを、沖縄の強み・特色産業である物流業、製造業、農業、金融など各産業分野へどのように応用することが可能なのか、まちづくりを行う中で、具体的にどのようにして IT を活かすことができるのか、AI や IoT の可能性をテーマとすることで、興味・関心をもち視聴したくなる下記のテーマとした。

テーマ：「AI や IoT を活かしたまちづくりのあり方について」

② パネルディスカッションのテーマ設定

パネルディスカッションのテーマは基調講演の内容と連動させるとともに、これまでの跡地利用に囚われることのない議論の展開が可能な下記のテーマを検討。

テーマ①：「広大な普天間飛行場跡地だからこそ導入すべき最先端技術とは何か」

テーマ②：「世界中から多くの人材や企業が集まる跡地に必要な環境整備とは何か」

③ パネリストの選定

「沖縄の持続的かつ発展的な経済自立の実現のために、世界と沖縄をつなぐグローバル志向の若手イノベーター人財を発掘・育成する」という理念のもと、沖縄県内の学生を対象に 10 日間の米国シリコンバレー派遣を中心とした高度な研修プログラムを実施している「Ryukyufrogs（琉球フロッグス）」、その卒業生をパネリストとして推奨する。現実的かつ枠にとらわれない普天間飛行場跡地の将来について、意見を聴取する。

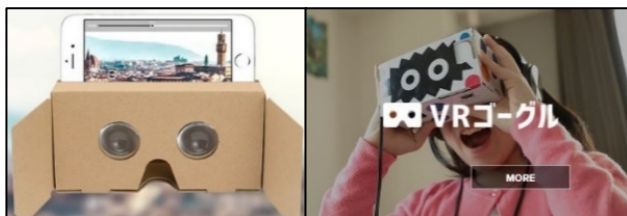
(2) - 5 ⑤情報発信コンテンツの作成

(2) - 5 - 1 イベントの企画 検討目的

跡地利用計画に対する興味・関心に繋げるため、タブレット／スマートフォンがあれば、場所や時間を問わずにインターネットを介して瞬時に大多数に共有が可能となる拡散型コンテンツを作成し、より深い普天間飛行場の将来イメージの共有を図る。

(2) - 5 - 2 概要

360 度映像を作成（普天間VRを活用）し YouTube にて公開し、ユーザーはハコスコ内にスマートフォンを入れ込み、360 度見回すことで、3D疑似体験を可能とする。



出典：平成 30 年度 普天間飛行場跡地利用計画定業務委託
報告書（平成 31 年 3 月、沖縄県、宜野湾市）

3. ホームページの更新

本節では、今年度実施したホームページの更新内容について整理し、今後の展開について述べる。

(1) コンテンツの更新

昨年度に作成したPVや最先端技術と融合した「みどりの中のまち」イメージなど新たなコンテンツを順次格納し、サイトのアップデートを行い、地権者、県民・市民に情報発信の充実を図った。

更新項目は、以下のとおりである。

【更新項目】

- ・トピック画像（みどりの中のまちづくり）等の修正
- ・昨年度作成のPVの挿入
- ・最先端技術と融合した「みどりの中のまち」イメージの追加
- ・その他、リンクが切れているURLの更新

(1) - 1 トピック画像等の修正

The screenshot shows the homepage of the 'Futaba Airfield Site Future Vision' website. The main title is '普天間飛行場跡地 未来予想図' (Futaba Airfield Site Future Vision). Below the title, there is a navigation bar with links: TOP ページ, 計画のポイント, 未来のまち イメージPV, むかしの風景 探訪, 県民の声, 関連リンク, and ENGLISH (pamphlet). The main content area features a large image of a green landscape with the text '緑の中のまちづくり 編' (Green in the Middle of the Town Making - Edition). To the right of this image, there is a sidebar with links: 動画で見る 普天間 未来予想図, 未来のまちイメージPV 公開中!, 海外事例編, シンガポール, オーストラリア, ドイツ, and ゆめのあるぎのわんのみらい. Red arrows point from text boxes to specific elements on the website, indicating updates.

文言の修正
「VR」→「PV」

トピック画像の修正
オーストラリアを追加

文言の修正
「VR」→「PV」

図面の差し替え

リンク（URL）の更新

(1) - 2 昨年度作成のP Vの挿入

未来のまちイメージ VR

未来のまちをイメージしてみました

返還後の跡地利用を早期に実現するためには、返還前の早い段階から跡地利用計画を準備しておく必要があります。
そこで、文化財や自然環境の文献調査・現況調査、有識者からの意見も伺いながら、跡地利用計画の検討を進め、まちのイメージをプロモーションビデオにしました。沖縄振興の拠点となる中央エリア、周辺地域の開発と連携した北側エリア、西海岸地域とのアクセスが見込まれる南側エリア。
今後も、県民や地権者の皆様はもとより、県内外の多くの方々からのご意見を伺いながら、計画内容をより具体化していきたいと考えています。



昨年度の検討内容を追加

Vol.4 「みどりの中のまちづくり」イメージ



昨年度成果P Vを挿入

イメージのポイント



シマの基層と最先端技術の融合した「みどりの中のまち」

琉球王国の時代のまちづくりでも巧みに取り入れられてきた「緑と水と歴史を活かしたまち」の考え方を最先端技術と組み合わせることで持続可能なまちづくりを実現しながら、住宅や建物、街並み、公園など、まち全体が「みどりの中のまち」になることで、土地の価値や快適性が高まるまちをイメージしてみました。



「シマの基層と最先端技術の融合した『みどりの中のまちづく』」のイメージを紹介



最先端技術を活用した環境の豊かさが持続するまち

雨水・地下水の循環や緑化により涼しさを創出したり、太陽光を電気に変えて必要な場所に必要量の電力供給をまち全体でコントロールすることで省エネに貢献したり、まち全体に最先端技術を取り入れることで、環境を守りながら質の高い暮らしが実現するまちをイメージしてみました。



「最先端技術を活用した環境の豊かさが持続するまち」のイメージを紹介

Vol.3 南側エリア



イメージのポイント



シマの基層(水・地形・緑・歴史文化)を活かしたまち

地下に流れる水の流れ、起伏のある地形、跡地内に残る緑、先人たちの文化・歴史を活かしながら、かつて普天間飛行場内にあった集落の形や生活の知恵、風土に根ざした琉球の文化を踏まえた周辺環境とも溶け合うまちをイメージしてみました。



沖縄振興の舞台 (国際交流・産業振興)

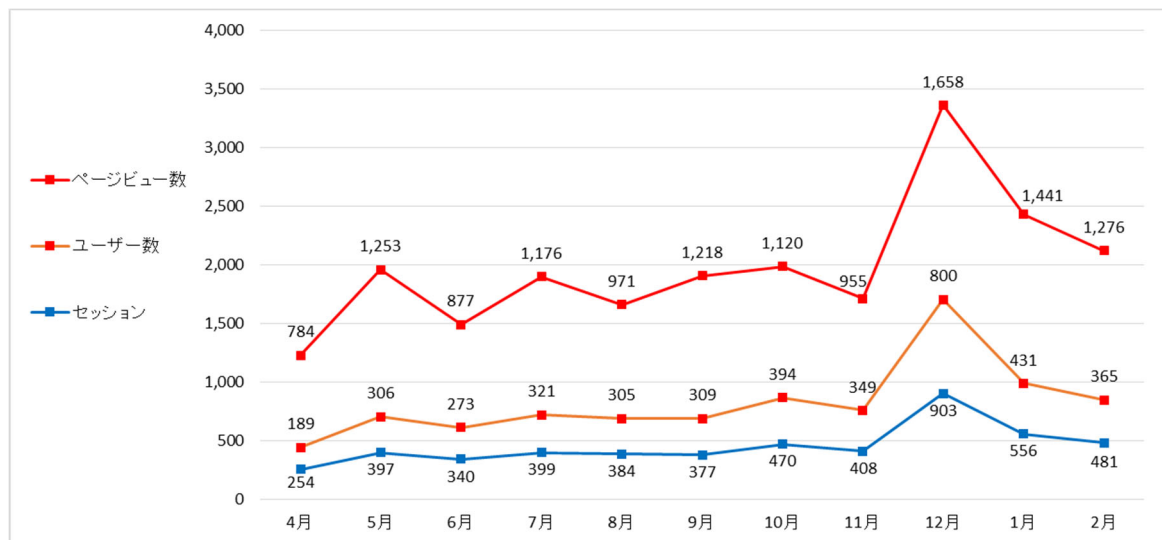


(2) アクセス解析（2月末まで集計）

Google アナリティクスを使いHPのアクセス解析を行った。月平均では、約 367 名（前年度 452 名）のユーザーが来訪し、約 1,157 ページビュー（前年度 1,282 ページビュー）がある。1 ユーザー当たり約 3 ページを閲覧している。昨年度に比べ、ホームページへの来訪者は減少している。

表Ⅳ－2 月毎のアクセス数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
セッション	254	397	340	399	384	377	470	408	903	556	481	4,969
ユーザー数	189	306	273	321	305	309	394	349	800	431	365	4,042
ページビュー数	784	1,253	877	1,176	971	1,218	1,120	955	1,658	1,441	1,276	12,729
ページ／セッション	3.09	3.16	2.58	2.95	2.53	3.23	2.38	2.34	1.84	2.59	2.65	平均 2.67
訪問時の平均滞在時間	03:05	03:39	02:51	03:07	02:18	03:15	01:39	01:39	01:14	02:54	02:10	平均 02:32
直帰率	51.97%	54.66%	58.53%	50.13%	60.94%	52.79%	65.96%	62.75%	71.76%	56.47%	54.68%	平均 58.24%



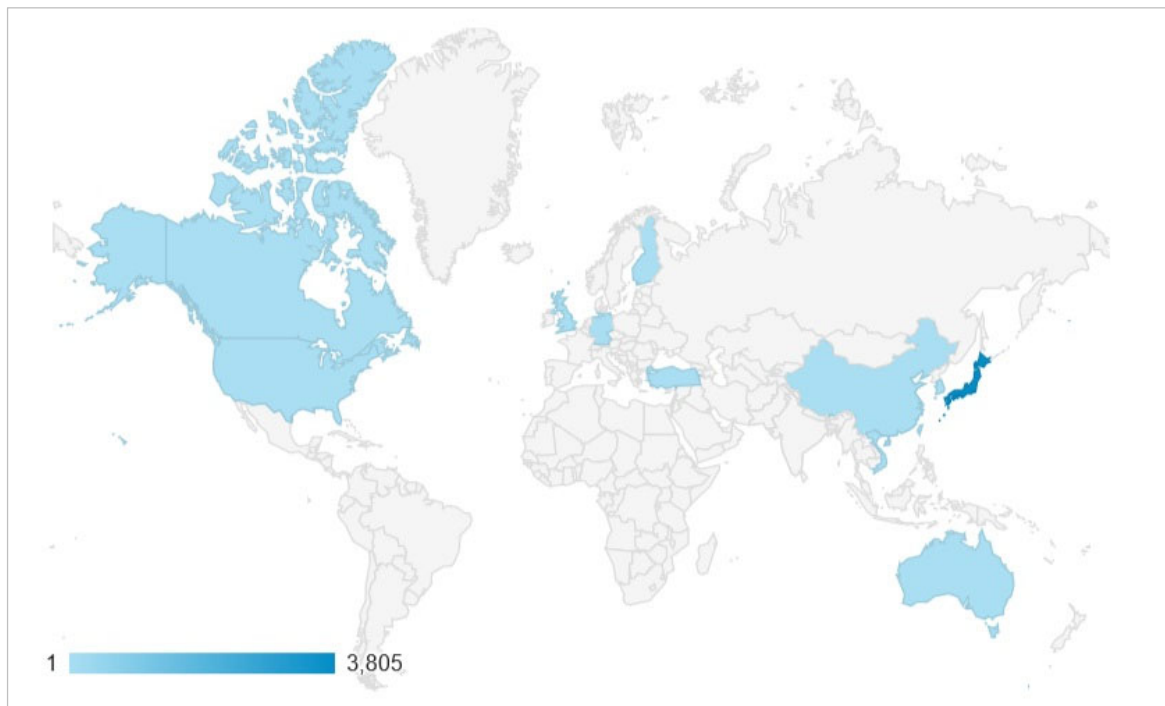
【用語解説】セッション：アクセスユーザーがサイトに流入してから離脱するまでの一連のページ変遷
 ユーザー数：指定した期間にサイトにアクセスしたユーザーの数（同じユーザーは1回だけカウント）
 ページビュー数：閲覧されたページの合計数。同じページが繰り返し表示された場合も集計
 ページ／セッション：1セッションあたりのページビュー数。1回あたり何ページを閲覧したのかを判断
 訪問時の平均滞在時間：1セッションあたりの平均滞在時間
 直帰率：1ページだけを閲覧した訪問数の割合

表Ⅳ－3 ページ別ページビュー数（上位10ページのみ掲載）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
トップページ	197	296	266	395	304	384	334	314	405	433	318	3,646
未来のまちイメージPV	45	128	86	133	94	162	122	92	142	150	126	1,280
基地が返還される	34	77	37	62	107	109	153	101	148	131	141	1,100
跡地利用に伴う経済効果	19	57	70	69	50	52	62	63	504	70	38	1,054
まちがつながる	37	68	50	62	61	80	69	47	90	53	56	673
人々が集まるまちができる	31	47	35	47	46	53	61	50	41	27	39	477
緑の中のまちをつくる	23	37	28	34	37	38	48	35	38	31	33	382
中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想	25	43	52	25	32	23	46	36	35	34	17	368
原風景を探しに行こう！	10	14	45	32	45	16	35	34	45	31	41	348
模型で見るむかしの風景ページ	9	32	28	57	23	24	18	24	28	30	35	308

表Ⅳ－４ エリア別（国別）のアクセス数（上位 10 か国のみ掲載）

国	ユーザー	新規 ユーザー	セッシ ョン	直帰率	ページ/ セッション	平均セッシ ョン時間
日本	3, 805	3, 783	4, 906	59. 66%	2. 57	142. 78
アメリカ	31	31	32	81. 25%	1. 34	51. 53
不明	6	6	7	57. 14%	1. 71	270. 57
中国	3	3	3	66. 67%	1. 33	38. 33
香港	3	3	3	66. 67%	3. 67	62. 00
トルコ	3	3	3	0. 00%	2. 67	309. 33
オーストラリア	2	2	2	50. 00%	1. 50	832. 50
カナダ	2	2	2	50. 00%	1. 50	16. 50
勸告	2	2	2	50. 00%	3. 50	64. 50
ベトナム	2	2	2	50. 00%	3. 50	82. 00
合計	3, 864	3, 841	4, 969	(平均) 59. 81%	(平均) 2. 56	(平均) 142. 33



表Ⅳ－５ エリア別（市区町村別）のアクセス数（上位 10 地域のみ掲載）

市区町村	ユーザー	新規 ユーザー	セッシ ョン	直帰率	ページ/ セッション	平均セッシ ョン時間
那覇市	809	774	1,196	52.17%	3.52	219.46
大阪市	507	485	568	65.67%	1.90	74.36
横浜市	407	383	475	63.79%	2.06	100.34
新宿区	149	138	176	57.95%	2.38	148.87
宜野湾市	149	144	192	58.85%	2.29	156.06
福岡市	117	112	142	65.49%	2.18	99.41
名古屋市	108	101	115	59.13%	2.34	89.64
千代田区	93	87	104	60.58%	2.13	98.45
港区	91	88	106	66.98%	2.08	90.01
沖縄市	77	72	96	53.13%	2.34	148.03
合計	4,050	3,841	4,969	(平均) 59.81%	(平均) 2.56	(平均) 142.33

表Ⅳ－６ 利用端末別（ＰＣ、タブレット、スマートフォン）のアクセス数

デバイス	ユーザー	新規 ユーザー	セッシ ョン	直帰率	ページ/ セッション	平均セッシ ョン時間
mobile	2,133	2,130	2,521	67.91%	1.84	73.23
desktop	1,570	1,552	2,256	50.27%	3.40	223.55
tablet	161	159	192	65.63%	2.21	95.49
合計	3864	3,841	4,969	(平均) 61.27%	(平均) 2.48	(平均) 130.75

表IV－7 利用ブラウザ別集計（上位 10 件のみ掲載）

	ユーザー	新規ユーザー	セッション	直帰率	ページ/セッション	平均セッション時間
Safari	1, 425	1, 424	1, 710	64. 50%	1. 86	0:01:25
Chrome	1, 216	1, 206	1, 647	55. 92%	3. 01	0:03:06
Internet Explorer	368	360	557	47. 94%	3. 58	0:03:26
Safari (in-app)	360	359	392	76. 79%	1. 47	0:00:47
Edge	308	308	430	51. 40%	3. 47	0:03:51
Android Webview	95	95	118	74. 58%	1. 89	0:01:30
Firefox	53	49	69	59. 42%	2. 48	0:01:12
Samsung Internet	33	33	40	62. 50%	3. 12	0:02:37
Opera	3	3	3	66. 67%	3	0:00:58
不明	1	1	1	100. 00%	1	0:00:00



図IV－6 サイト内のユーザーの動きの解析

(3) 今後の展開

今年度までに毎年コンテンツの更新を行いながら、中身の充実を図ってきた。現状のサイトで見られるコンテンツは以下のとおりである。

- ・動画で見る普天間未来予想図（中間取りまとめ）
- ・未来のまちイメージPV（動画）
- ・「緑の中のまちづくり」（海外事例動画あり）
- ・体験イベント（アンケート結果あり）
- ・模型で見る昔の風景（字宜野湾・字神山まちまーい体験報告含む）
- ・ゆめのあるぎのわんみらい（児童生徒絵画コンクール受賞作ギャラリー）
- ・県民の声（地権者、市民の活動紹介、体験イベント紹介、絵画コンクール紹介、跡地利用計画提案コンペ受賞作紹介）
- ・中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想
- ・跡地利用に伴う経済効果
- ・関連リンク
- ・中間取りまとめ（英語版）



ホームページでは、中間取りまとめのポイントやこれまで作成してきた未来のまちイメージPV、さらには県民・市民の声等、跡地利用に関する様々な取組を分かりやすく発信している。

過年度に実施した体験イベントのアンケート結果等から、県民・市民が普天間飛行場跡地利用に関する取組内容について十分に認識しているとはいえない状況にあると考えられる。また、ホームページのアクセス解析結果より、ホームページへの来訪者が減少していることも課題としてあげられる。

そのため、イベント開催時にホームページの情報を掲載したノベルティグッズやホームページの掲載内容をわかりやすくまとめたパンフレットの作成・配布等の広報活動を行うとともに、コンテンツの更なる充実を図っていくことで、県民・市民・地権者を中心に本ホームページの存在を周知する必要がある。